

2005年6月16日

踊り場から脱却しつつある神奈川県内中堅・中小企業の景況感

企業経営予測調査2005年6月調査結果より

(株)浜銀総合研究所(社長遠山悌二郎)では、神奈川県内の中堅・中小企業を中心としたアンケート「企業経営予測調査」の2005年6月調査を実施いたしました。今般、同調査のなかで最も注目度が高いと思われます業況判断D.I.の集計結果がまとまりましたのでご案内いたします。

要 旨

神奈川県内中堅・中小企業の2005年6月末時点における業況判断D.I.(全産業ベース、業況が「良い」－「悪い」、回答社数構成比、%)は全産業ベースで前回3月調査と同じ▲18で横ばいとなった。

今回の業況判断D.I.値を製造業、非製造業の別にみると、製造業は電気機械や一般機械などが改善したことから前回3月調査の▲16から今回▲6へと10ポイント上昇した。一方の非製造業は建設が大幅に悪化したことから▲20から▲27へと7ポイント低下した。

3か月先(2005年9月末)の見通しについては、製造業、非製造業ともに改善することから、全産業ベースの業況判断D.I.値は▲14と6月実績に比べて4ポイントの上昇が見込まれている。

このように県内企業の景況感は持ち直しに転じつつあり、県内景気が踊り場から脱却しつつあることを示している。

【本件についての問い合わせ先】

(株)浜銀総合研究所 調査部 新瀧

電 話 045-225-2375(ダイヤル)

E-mail: shintaki@yokohama-ri.co.jp

企業経営予測調査

2005年6月実施

四半期別（第136回）結果

対象企業 神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした791 社
(うち製造業308 社、非製造業483 社)

回収率40.8 % (回答企業323 社うち製造業134 社、非製造業189 社)

業況判断D.I.

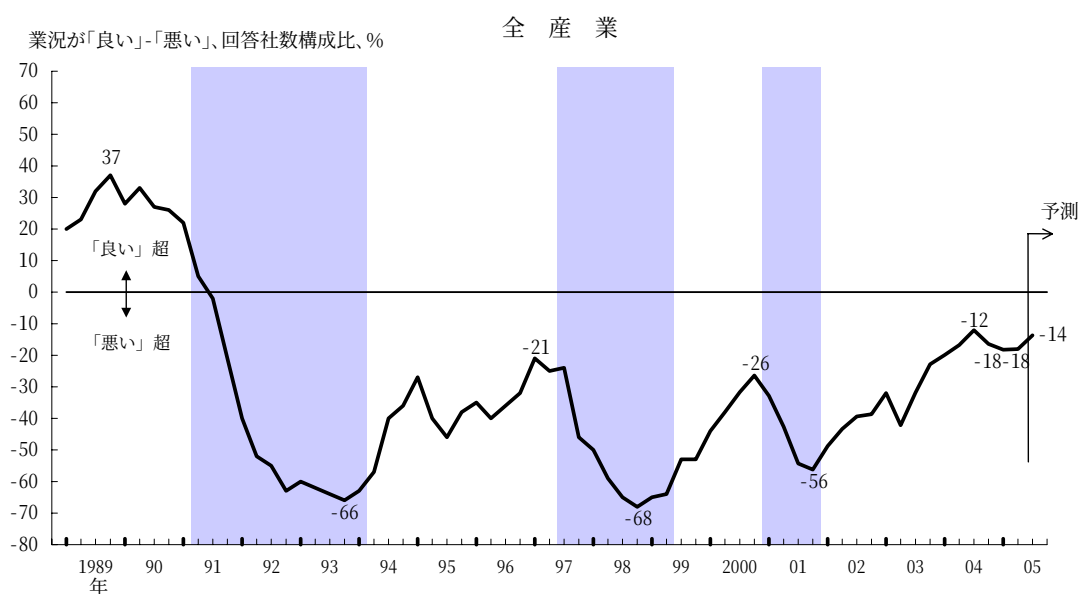
(2005 年6月末)

2005年6月末時点の神奈川県内中堅・中小企業（全産業）の業況判断D.I.（全産業ベース、業況が「良い」－「悪い」、回答社数構成比、%）は前回3月調査と同じ▲18で横ばいとなった。

製造業、非製造業の別にみると、製造業は前回調査の▲16から今回▲6へと10ポイント改善した。「良い」超が続いていた輸送機械が原材料高に伴う採算悪化から小幅ながら「悪い」超に転じたものの、一般機械で受注が持ち直しつつあることから「良い」超に転じたほか、在庫調整に進捗がみられる電気機械でも「悪い」超幅が縮小している。

非製造業では、前回調査の▲20から今回▲27と7ポイント悪化した。内訳をみると、建設を除く3業種では前回調査比おおむね横ばいで推移している。建設で「悪い」超幅が大きく拡大したのは、厳しい受注環境が続いていることに加えて、資材コストの高騰により採算が悪化した企業が増加しているためとみられる。

業況判断D.I.の推移



(注1) 各年の調査月は3、6、9、12月である。

(注2) シャドーは景気後退期を示す。

（３か月先の見通し）

2005年9月末時点の業況判断D.I.は、全産業で▲14と6月末実績の▲18に比べて4ポイント改善する見通しとなっている。

製造業では、一般機械の「良い」超幅が縮小するものの、他の主要業種では改善が見込まれていることから、全体でも今回調査の▲6から▲2へと「悪い」超幅の縮小が続く見通しとなっている。

一方、非製造業では建設と運輸・倉庫が改善予想となっていることから、全体のD.I.値は▲22と6月末比5ポイントマイナス幅が縮小する見通しである。

足下の業況判断D.I.と3か月先の見通し

（業況判断D.I.：業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、％）

区 分	2004年 12月末	2005年 3月末	2005年 6月末	2005年 9月末 (予想)
全 産 業	▲16	▲18	▲18 (▲17)	▲14
製 造 業	▲ 7	▲16	▲ 6 (▲15)	▲ 2
電 気 機 械	▲19	▲23	▲18 (▲21)	▲12
輸 送 機 械	4	4	▲ 4 (0)	12
一 般 機 械	▲ 5	▲26	16 (▲22)	5
鉄 鋼・非 鉄	56	58	25 (25)	38
金 属 製 品	27	▲15	14 (▲ 8)	21
非 製 造 業	▲24	▲20	▲27 (▲18)	▲22
建 設	▲26	▲18	▲44 (▲29)	▲27
運 輸・倉 庫	▲ 3	▲17	▲19 (7)	▲12
卸 ・ 小 売	▲32	▲32	▲31 (▲29)	▲31
サ ー ビ ス	▲25	▲11	▲13 (▲13)	▲13

（注）カッコ内は2005年3月調査時点における6月末予想である。

以 上